

ふるさとの歩み

第8回

～成田市をつくった町と村～

「ふるさとの歩み」では、「成田の地名と歴史—大字別地域の事典—」の刊行に合わせ、現在の成田市を構成する旧町村の歴史を紹介します。同書は、市立図書館と市役所1階行政資料室で頒布(価格=2,500円)しています。

※「成田の地名と歴史—大字別地域の事典—」について詳しくは市立図書館(☎27-4646)へ。

下総町①

滑河町・小御門村・高岡村の歩み

*写真は「成田の地名と歴史—大字別地域の事典」より



昭和3(1928)年の滑河町。
右上は現在の滑河小学校



小御門村役場入り口の門柱(現在の名古屋駐在所付近)



大和田区に置かれた高岡村役場

町・村の設立

滑河町は滑河村・西大須賀村・大菅村・猿山村の4カ村が、小御門村は名古屋村・七沢村・中里村・冬父村・名木村・青山村・倉水村・成井村・高倉村・地藏原新田の10カ村が、高岡村は高岡村・大和田村・高村・小浮村・野馬込村・小野村の6カ村が合併して、それぞれ明治22(1889)年に成立しました。

町・村の産業

滑河町・小御門村・高岡村とも主な産業は農業で、その中心は米作でしたが、昭和初期のセメント製品の登場によって、滑河町では工業生産額が急増しています。また、高岡村では、世界恐慌に端を発する農村不況を克服するため、経済更生計画を立案。小麦の増産や自給飼料の生産などが行われ、昭和11(1936)年、計画実施の功労者として同村書記・菅沢祐雄が表彰されています。

編集後記

1月9日は成人式。今年は1,360人の新成人が誕生しました。今年のテーマで、「3度目の0を迎えたみなさんへ」という表現がありましたが、私はもう7度目が迫っています。私の成人式の会場は、できたばかりの国際文化会館。その前は成田高校、第二信徒会館、成田中学校、成田小学校と、会場を変えて行われていました。式の後には街に繰り出し、初めて(!?)のお酒に酔いしていましたが、今はどうでしょうか。いずれにせよ、成人としての責任を自覚し、成田市の未来を担ってほしいものです。



成田市役所本庁舎(行政棟、議会棟、消防本部、成田消防署)はISO14001の認証登録を受けています。

平成24年1月15日号 No.1211

成田市のホームページ <http://www.city.narita.chiba.jp>